

カナダの金融市場動向 Weekly Report

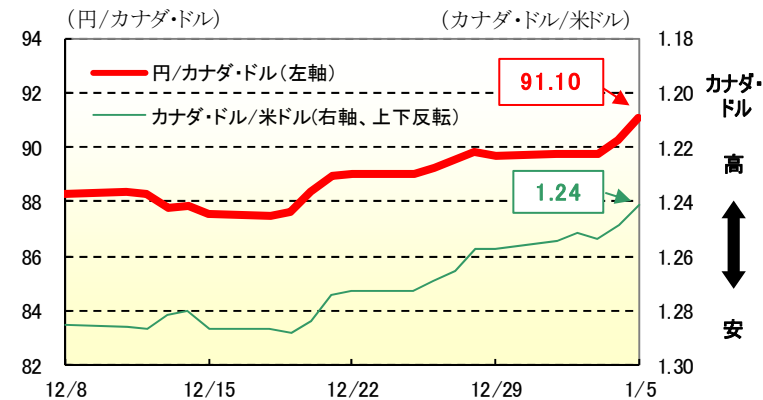
【2017年12月30日～2018年1月5日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円やカナダ5年国債利回りは上昇しました。

先週、カナダでは雇用統計が発表され、雇用者数が市場予想を超える増加となり、失業率も5.7%と前回から0.2%ポイント低下し1976年以來の低水準となるなど好調な結果となりました。これを受け、市場では追加利上げ期待が高まり、金利やカナダ・ドル円は上昇しました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年12月8日～2018年1月5日)



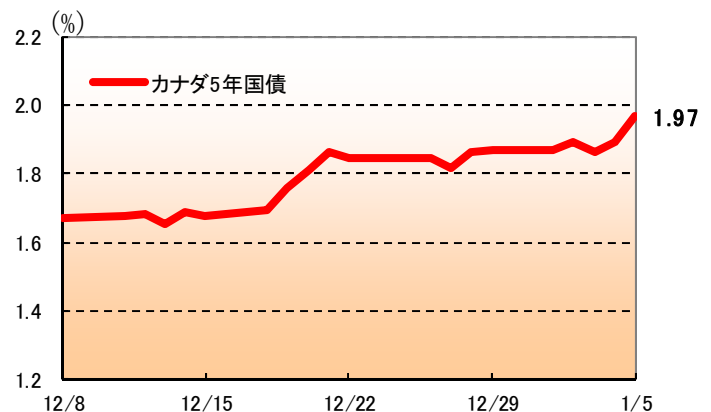
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週カナダでは、カナダ銀行の企業景況感調査や住宅関連指標が発表されます。ただし、市場の注目は1月17日(現地)に開催される金融政策決定会合に集まっています。

先週発表された好調な雇用統計を受け、カナダでは追加利上げ期待が高まっており、市場では今回0.25%ポイントの追加利上げが行われるとの予想が優勢です。そのため、今週はこうした追加利上げ期待の高まりが、金利やカナダ・ドル円を下支えするとみられています。

【カナダ 金利推移】 (2017年12月8日～2018年1月5日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>